

令和2年度

第9号

# 荻窪中学校学校便り

令和3年 2月22日発行

## 変化を前向きに捉えて

副校長 池田和幸

寒さの和らいだ日が多くなってきました。これまで出勤時は真っ暗でしたが、かなり明るくなりました。道端の梅の木がきれいな花を咲かせているのを見ると、春らしさを感じます。先日ある方と話していると、「もうスギ花粉がかなり飛んでいる」とのことでした。私自身は今のところスギ花粉へのアレルギー症状をもっていませんので、花粉が飛んでいることに気づくことがないのですが、アレルギーをもっている方はすぐに気づかれるようです。「今年はマスクしていることが当たり前になっているので、例年より感じにくかった」ともおっしゃっていました。こんなところにも、日常的にマスクを着けて生活することが当たり前になっていることを感じました。

昨年の全国的な臨時休校措置からまもなく1年になろうとしています。新型コロナウイルスに振り回された1年だったように思います。臨時休校の延長や様々な行事の中止・変更と今まで当たり前にやってきたことが当たり前にできなくなり、様々な我慢や辛抱を生徒の皆さんにお願いした1年でした。そんな中でも生徒の皆さんのが前向きで明るく学校生活を送っていたことは、本当に素晴らしいことだと改めて荻中生の立派さに気づかされました。

来年度から完全実施される新しい学習指導要領の策定にあたり、中央教育審議会において、「この学習指導要領で学んだ子どもたちが大人になる2030年の社会は、変化が激しく予測が困難である。」と答申に盛り込まれました。まさかこんなにも早く社会の変化が到来するとはその時には思っていなかったと思います。あるウイルスをきっかけにこんなにも早く社会の変化が起こるというのは、誰も予測できていなかつたことではなかったでしょうか。歴史を紐解けば、ペストの流行、スペイン風邪の流行など、大きな病の大流行によって、生活様式の変化が起こっていたという話があります。ただ、現代社会のように情報の伝達スピードの速さが違うため、今より変化は時間をかけもっと緩やかだったかもしれません。先日ウイルスについて特集している番組を視聴していたら、宿主を殺してしまうウイルスはやがて淘汰され、共存していくタイプが残っていくようになっていくという話や、ウイルスが生物を変化させ、進化ともつながっているのではないかという話が紹介されていました。この新型コロナウイルスと共に存できる日がすぐに来るとは思いませんが、少なくとも生活様式の変化という意味では、私たちに大きな影響を与えたことは間違ひありません。

中央教育審議会の答申において、「このような時代だからこそ、子供たちは、変化を前向きに受け止め、私たちの社会や人生、生活を人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を構想し、実現したりしていくことができる。」とも謳われています。大人である私たちよりも、新しい生活様式に冷静に対応し、落ち着いて生活する生徒の姿を見ると、答申の言葉に頷けるものがあります。

先日の新入生保護者説明会には、多くの保護者の皆様に来校いただくことができました。今年度は学校公開を実施できなかったり、小学校と連携した取組が実施できなかったりしたこと、あまり荻中生の様子を伝えられなかった面があったように思います。来年度は工夫をしながら、荻中生の良さを地域の方に伝える機会を増やしていきたいと考えています。

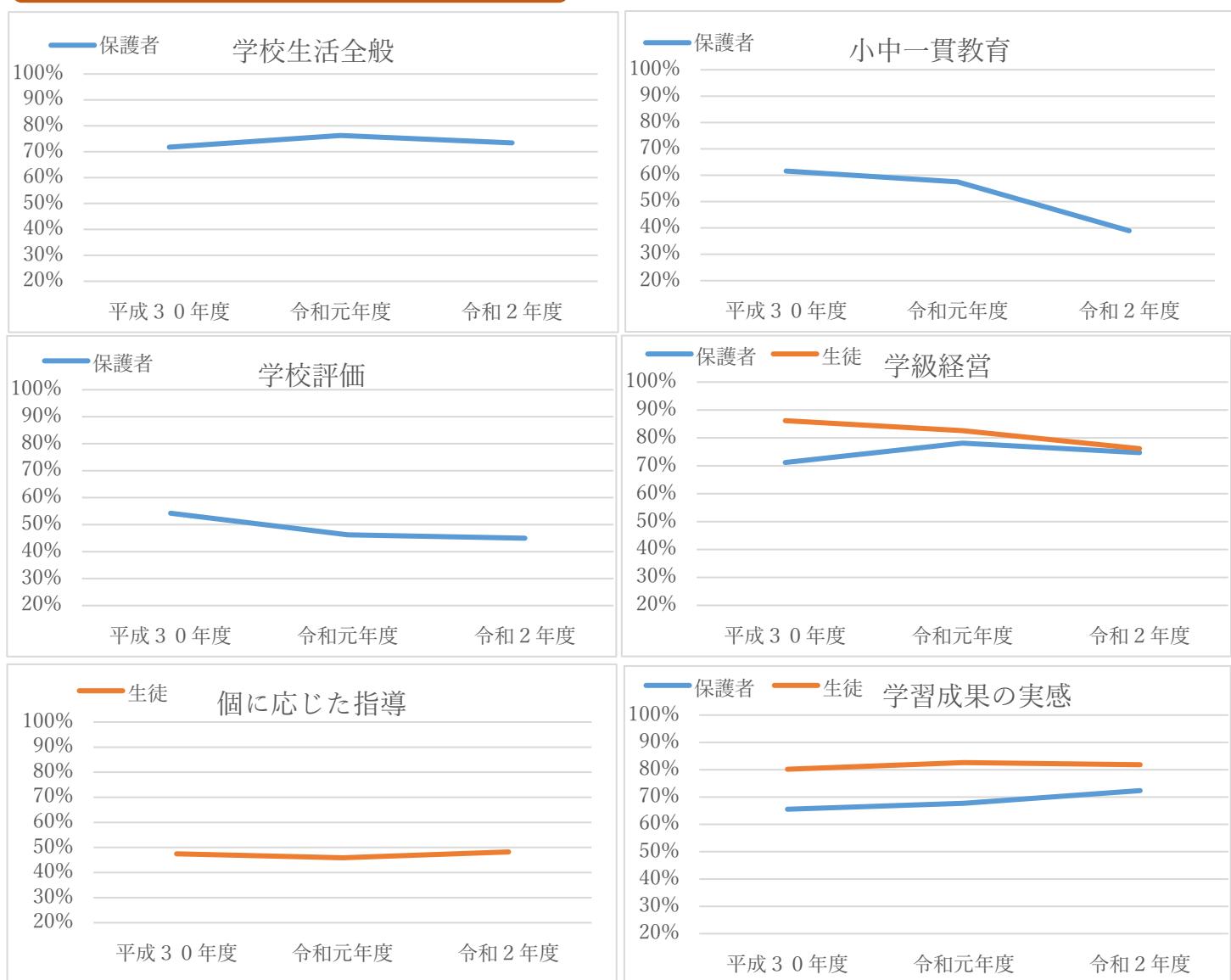
# 令和2年度杉並区教育調査結果

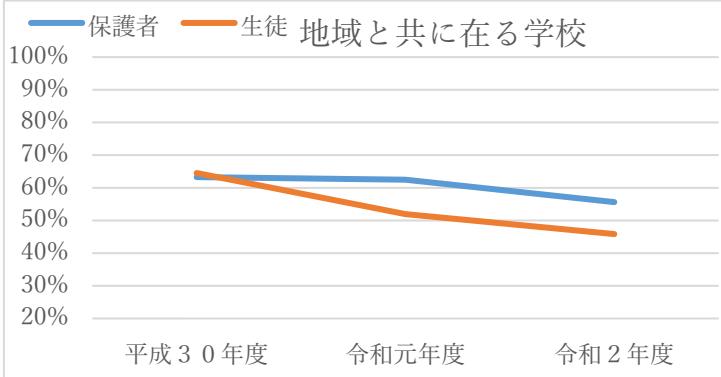
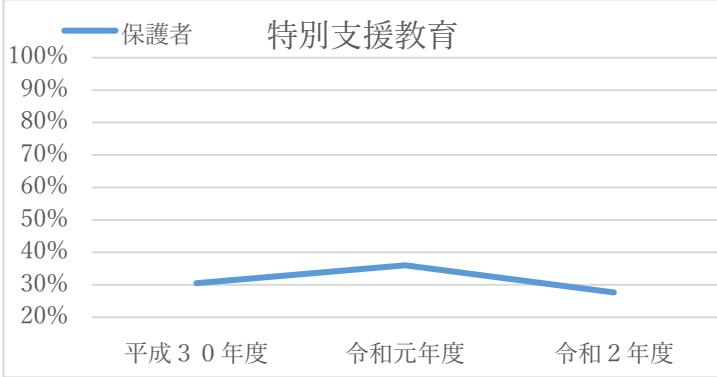
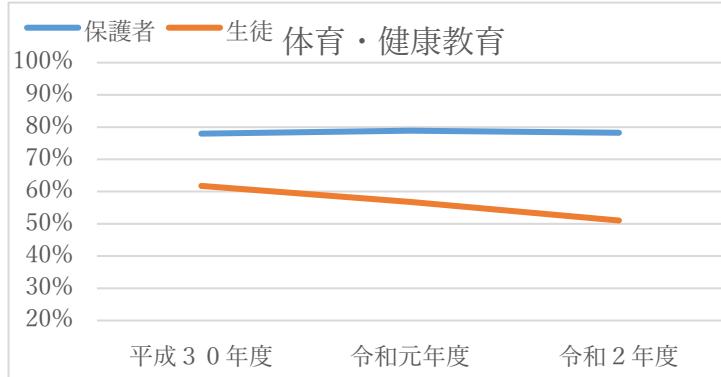
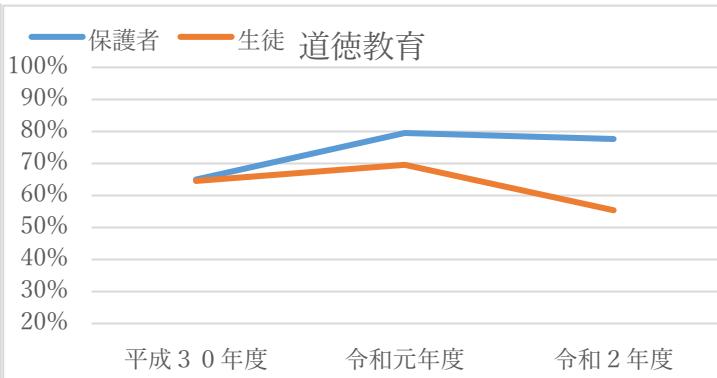
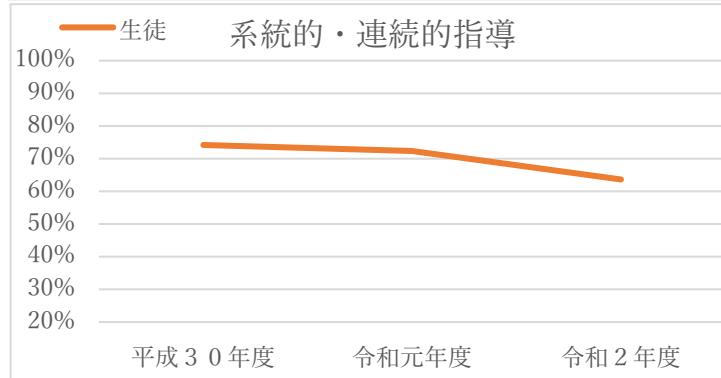
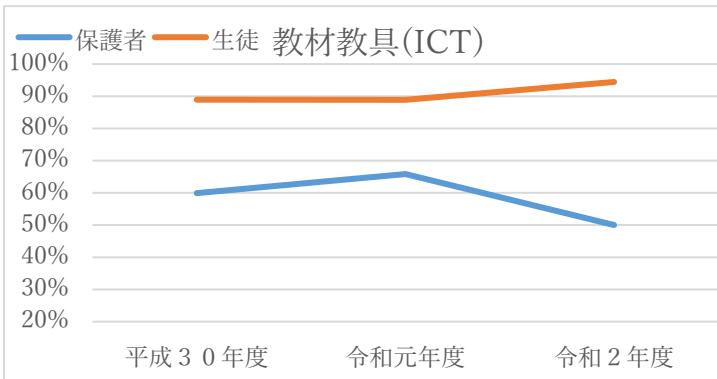
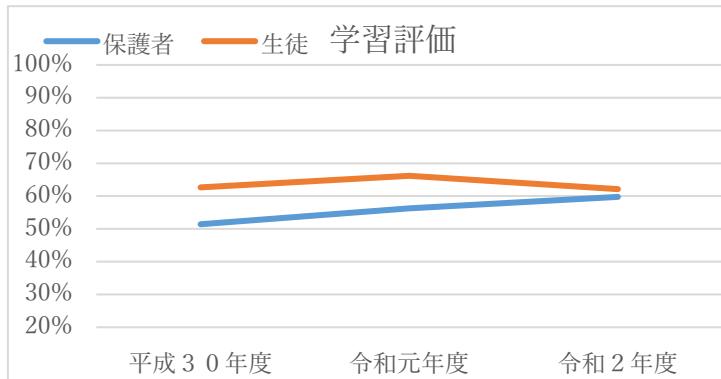
数字は肯定率

質問項目			保護者	生徒
1 学校生活全般	子どもの学校生活は全体として満足できるものである。	73.37%	↓	
2 小中一貫教育	連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。	38.92%	↓	
3 学校評価	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	44.97%	↓	
4 学級経営	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	74.71%	↓	76.14% ↓
5 個に応じた指導	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。			48.22% ↑
6 学習成果の実感	子どもは、学校の授業を通して、わかることやできることが増えていく。	72.35%	↑	81.82% —
7 学習評価	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	59.76%	↑	62.12% ↓
8 教材教具 (ICT)	学校は、ICT機器(電子黒板やデジタル教科書等)を活用した授業を行っている。	50.00%	↓	94.44% ↑
9 系統的・連続的指導	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とのようにつながっているか教えてくれている。			63.64% ↓
10 道徳教育	子どもは、学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	77.65%	↓	55.38% ↓
11 体育・健康教育	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	78.24%	—	51.01% ↓
12 特別支援教育	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深め情報を提供している。	27.65%	↓	
13 地域と共に在る学校	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	55.62%	↓	45.83% ↓

※↑=前年度より1%以上上昇 ↓=前年度より1%以上マイナス —=前年度と±1%以内

## 保護者・生徒の肯定率の推移



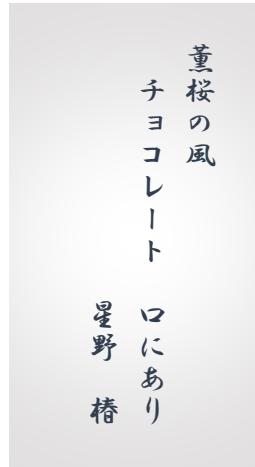


今年度は新型コロナウイルス感染症に関係して、様々な取組が中止になったこともあります。全体的に肯定的な評価が下がっています。特に地域にある学校の項目が2年連続低下していることについては、真摯に受け止め、コミュニティスクールであるという特色を生かし、次年度工夫していくかと考えています。また、小中一貫教育の項目についても、小

学校との交流が実施できなかったこともあります。次年度は交流活動の再開を視野に入れて計画していきたいと考えています。教材教具(ICT)の項目について、保護者からの評価と、生徒からの評価が分かれています。授業内においてICT機器を活用した取組を積極的に実施していますが、休校期間中、オンライン学習への準備が整っていなかったことが、評価を分けたと考えます。個に応じた指導の項目において、肯定率が高まっています。また、学習成果の実感の項目においても、高い肯定率となっており、生徒の実態に応じた「わかる」授業が多く実施されていると考えます。この状況に満足することなく、生徒の学力を伸ばしていくように教員の授業力向上を目指して取り組んでいきます。

## 新入生保護者説明会

2月13日（土）14時から新入生保護者説明会を実施いたしました。90名近くの保護者の方にご来場いただき、用意した椅子がほぼ埋まるくらいの高い出席率でした。保護者と一緒に来校した入学予定の児童の姿も見られ、新年度はどんな第1学年になるのか、今から楽しみになりました。



### 2・3月の主な行事予定

- 2月24日（水）～2月26日（金） 定期考查IV  
2月26日（金） 専門委員会  
3月 1日（月） 生徒会朝会  
3月 2日（火） 都立一次発表・手続き  
3月 8日（月） 全校朝会  
3月 9日（火） 進路体験を聞く会  
3月10日（水） 専門委員会・評議執行委員会 都立二次入試（3年）  
3月11日（木）～3月13日（土） 荻窪中作品展  
3月13日（土） 土曜授業（給食なし）  
3月15日（月） 学年行事（3年）  
3月17日（水） 卒業式予行  
3月19日（金） 卒業式  
3月22日（月） 学年行事（2年）  
3月23日（火） 学年行事（1年）  
3月24日（水） 保護者会（1・2年）  
3月25日（木） 修了式

令和2年度 杉並区 青少年善行表彰

- ○○(男子) (1年 A組)  
○○ ○○(女子) (2年 A組)  
○○ ○○(女子) (2年 A組)  
○○ ○○(男子) (2年 B組)  
○○ ○○(男子) (3年 A組)  
○○ ○○(男子) (3年 B組)

### 第72回 卒業式

日時：令和3年3月19日(金)

開式 午前10時

場所 荻窪中学校体育館

※詳細につきましては、後日配布する文書でご確認ください。